

## 障害プロジェクト 第2回委員会議事録

実施日時：平成21年9月24日 木曜日 15時00分～17時00分

実施場所：健軍くらしささえ愛工房 喫茶ルーム

参加人数：委員3名／和田 要、天田城介、柳田紀代子(補佐2名／楠田美香、上野)  
欠席3名／小笠原嘉祐、岡田稔久、有働義信  
事務局3名／川原秀夫、中山泰男、面高しおり

### 1)【会議項目】

第1号議案 熊本県の取り組み状況について(福祉のまちづくり室 柳田委員)

第2号議案 要項書及びアンケート送付先(案)について

第3号議案 企業調査用アンケート(案)について

第4号議案 訪問調査企業(案)について

第5号議案 企業訪問への聞き取り調査(ヒアリング)について

### 2)【検討議題】

第1号議案 熊本県の取り組み状況について

熊本県福祉のまちづくり室の楠田主任より、資料「平成21年度熊本県における障がい者就労支援への取り組み」に基づき、今回の事業対象である「その他の三障害」に絞って支援の取り組みについて説明がなされた。

第2号議案 アンケート送付先(案)について

中山事務局員より、1000社にアンケート用紙の発送するにあたり、障害者雇用に理解のある企業として、厚生労働省の大臣表彰・各都道府県の障害者雇用応援団登録企業・特例子会社・雇用達成企業等からの選出群500社と、DPI(認定NPO障害者インターナショナル)雇用率未達成の企業500社の中から無作為抽出を行った。更には、各々500社を、政令指定都市250社、その他の都市250社に振り分けることで4つの群で考察したい旨の説明が行われた。

面高事務局員より、別紙「アンケート配布企業」一覧記載の産業別分類に基づき、配布先としては製造業・サービス業・卸小売業が多くなっていること、また、調査スケジュールとして、9月末までにアンケートを完成させ、10月8日から遅くても15日までには発送を行い、アンケートの集計は11月～12月末まで行いたいとの説明を行った。

第3号議案 企業調査用アンケート内容(案)について

和田委員長より、前回に比べると格段と中身が良くなりましたが、本日の委員会でご意見を頂戴して最終的な仕上げとしいとの説明があり、中山事務局員へ説明を行うように促された。

中山事務局員より、前回から見直し20版目を超えましたが、本日の委員会ですらに精度を高めたいと説明の後、各委員からご質問やご意見を頂いた。

問3-3 「難病にある者」という表現を「難病の方」という表現に変更し、難病の定義を簡潔に下部に記載する。(柳田委員/楠田主任)

「その他の方々(障害)」という欄を追加し、その他の障害には分類されない疾病等がある場合は、その欄に記載できるようにする。(天田委員)

問 3-4 その他の項目には、内容も記載して頂くようにしてはどうだろうか。

問 4-3 サの項目の「手間」という表現を「人員」という表現に変更する。(和田委員長)

問 4-3 項目に、経済的側面から障害者雇用が困難という項目を追加する。(和田委員長)

大問 5 助成金や専門の支援センター等の間になり、回答率があがらないと思われるため削除を検討する。(天田委員)

大問 7 障害全体の質問になり、「その他の障害」についての質問ではないので削除を検討する。  
(川原事務局員)

その他(全員の意見)

- ・ アンケートの回収率を上げるのであれば、もう少しアンケートの内容を削る方がよいのではないかと。もしくは、アンケートの内容を濃くし回収率が少なくても一つ一つの回答を生かすのかを検討。
- ・ アンケート鏡分は1ページ目に作成し、2ページ目以降からアンケートの内容を持ってくる。企業の個別データやプライバシーの秘密厳守を明確に記載する。
- ・ 障害者雇用未達成の企業に、雇用に際しての困難な理由等をヒアリング調査してはどうだろうか。アンケートの最後に、ヒアリング調査が可能かどうかの項目を追加し、可能な企業には更に細かい聞き取り調査を行う。

川原事務局員から、9枚にまとめて頂いたが、まだ多く感じるので、できれば6～7ページに絞ったほうが良いのではないかと意見が出された。

中山事務局員より、アンケートの添付物として、別紙「専門用語の解説」について説明、並びに、「難治性疾患患者雇用開発助成金のご案内」及び「発達障害者雇用開発助成金のご案内」を啓発の意味もこめて同封してはとの意見がだされた。

天田委員から、「専門」という表現は削除すること、また、添付物が増えると送料が嵩むので予算的に可能なのか、また効果はあるのだろうかとの意見がだされた。

川原事務局員より、チラシから印刷しなければならず、そこまでのコストは考えていなかったことと、また、アンケートの中身で表現化されていることから、必要な方は調べることは可能。一方で、アンケートに答えない方は、そのままゴミ箱行きの可能性が高いことを考えると同封する必要はないとの考えを述べられた。

和田委員長より、皆さんの意見を参考に事務局でもう一度見直しをやって早い時期に回覧して頂くこと、発送日を10月18日までには終えたいので、逆算して作業を進めるようにとの意見で取りまとめられた。

#### 第4号議案 訪問調査企業(案)について

面高事務局員より、別紙「訪問企業ピックアップ」を用いて、全国で10箇所(熊本5箇所、関東・関西圏5箇所)の企業を訪問予定であること、方法としては、訪問予定の企業には事前に電話連絡を行い、今回の調査の主旨を記載したお手紙をお送りした後に了承を頂いた企業へ訪問を行う予定であること、また、順次訪問調査を行っていきたくので各委員の皆さんには同行訪問で協力をお願いしたい旨の説明がなされた。

#### 第5号議案 訪問企業へのヒアリング項目について

中山事務局員より、訪問時に使用するヒアリング用紙(案)を基に、今後はこのヒアリング項目を用いて聞き取り調査を行って頂きたいが、6番目が重点的に聞き取りを行いたい項目であること、また、各担当で聞きたい事項等があれば追加して頂き、聞き取りを行ってほしいとの説明があった。

### 3) 【その他の事項】

- ・ 次回の第3回委員会開催 12月3日 15時00分
- ・ 報告書用に各委員の顔写真を取らせていただく。

以上をもって第2回委員会を終了する。

【記録者 面高しおり】

